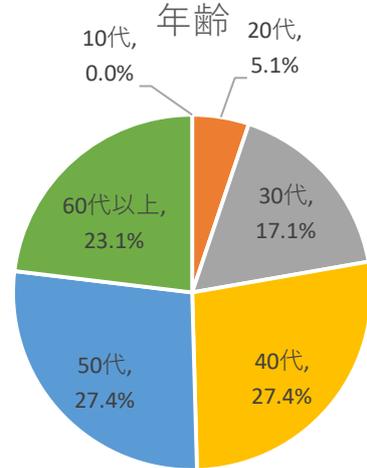
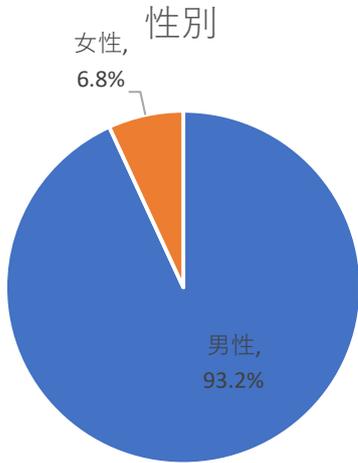


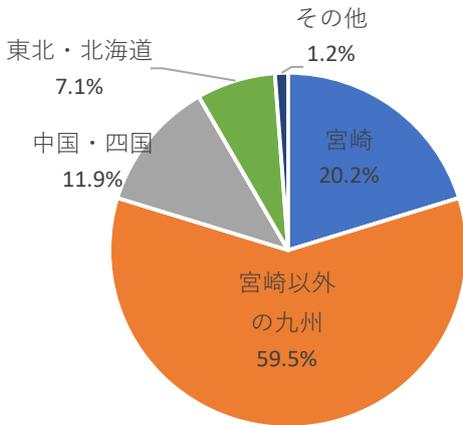
地域金融セミナーアンケート集計

令和3年6月14日開催 回答者数：117人（会場33人、Web84名）

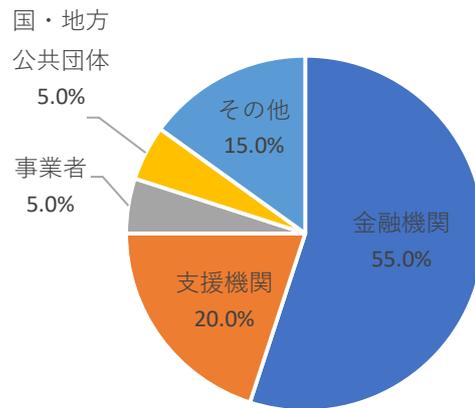
アンケートにご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げますとともに、頂戴いたしましたご意見等につきましては今後の参考とさせていただきます。ありがとうございました。



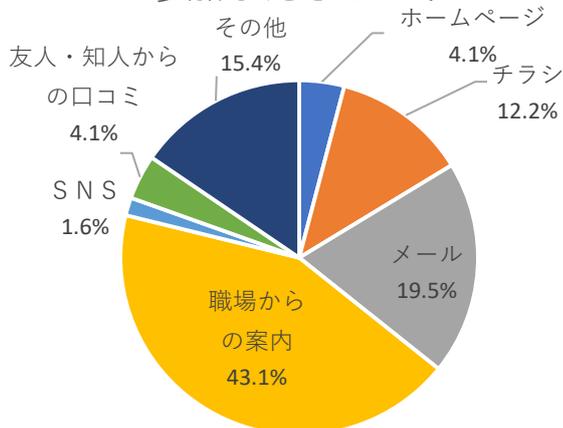
地域（Web参加者のみ）



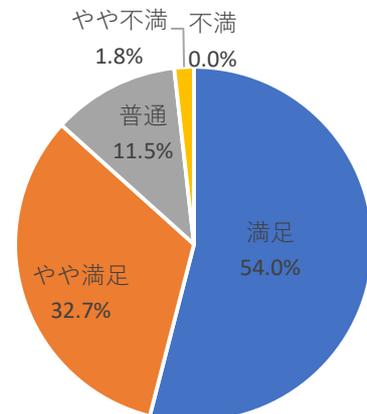
職業



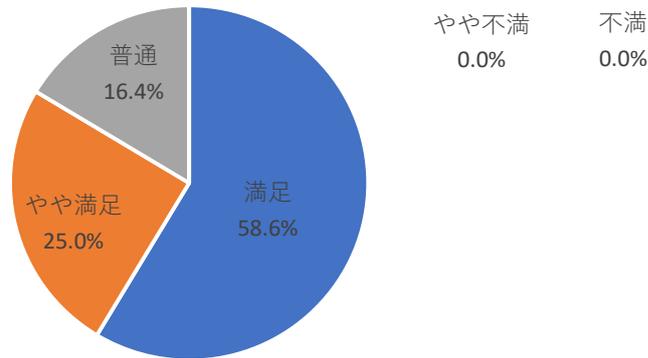
参加したきっかけ



セミナー全体の満足度



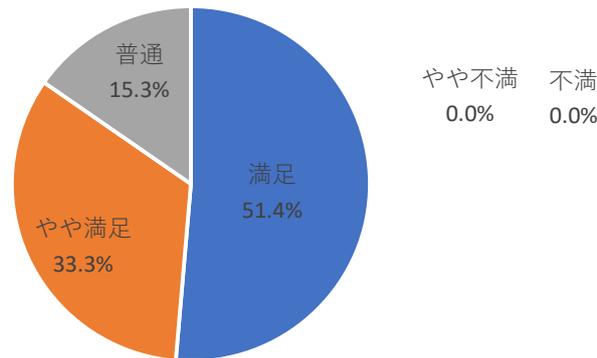
基調講演の満足度



●基調講演について共感したこと、疑問なこと、ご意見など(一部)

<p>・顧客との「共通価値の創造」のために、地域金融機関が今なすべきことについて、先進金融機関の事例を挙げていただきながら、分かりやすく説明していただいた。また、組織論としても、意欲と知見を持つ多様な職員の知的貢献をどう引き出していくかといった視点について、深く共感しながら拝聴いたしました。</p>	金融機関 50代
<p>・金融行政の「現在の考え方」などとても参考になりました。一方で、コロナ禍における金融支援のあり方や、現場のリアル、そして2022年以降の経済見通しなどもう少し踏み込んだ内容を期待しました。</p>	事業者60 代以上
<p>・金融行政の変革が私を含め、現場（金融機関担当、保証担当）まで浸透していないのだと感じた。このような講演には初めて出席したが、非常に多くの知見を得たので、より多くの現場の人々に聞いていただきたいと思った。</p>	金融機関 20代
<p>・地域金融機関の職員として何を行えばいいか、何をしたら喜んでもらえるか等考えさせられるいい機会になりました。ただ限られた人員でどこまでやれるかといったことも同時に疑問に思いました。</p>	金融機関 40代
<p>・地域金融機関は変革無くして生き残ることは不可能である。地域、企業の発展には貢献できない。ところが、変革意識の乏しい経営陣が束ねる金融機関は若い人間がいかに危機意識や変革意識を持っていても変わらず疲弊していく。ガバナンスに対し、より、踏み込んだ対応が望まれる。中央集権的では無理。</p>	その他30 代
<p>・現在、地域金融機関は地域企業・経済の活性化のため様々な取組みを行っていますが、今回の基調講演を聴いて、今後も地域金融機関の使命として取組んでいかなければいけないと改めて感じました。他の地域金融機関等の取組事例も紹介され、とても参考になりました。</p>	金融機関 50代
<p>・対話の連鎖を実現させることによる好循環を生み出すこと。</p>	その他30 代
<p>・地域に根付く優秀な企業としてSpiber等の話は聞いたことがあったが、そのような企業を地域に誘致する取り組み・根付かせる取り組み等についてはほぼ知らなかったため、非常に興味深く、勉強になった。</p>	支援機関 30代

パネルディスカッションの満足度

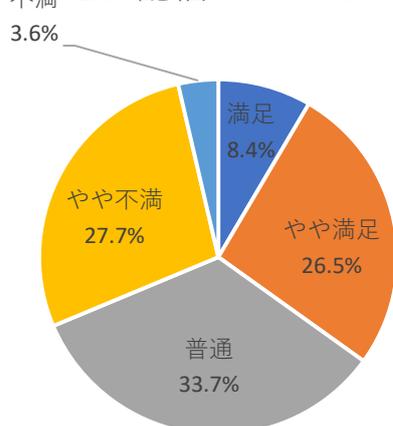


●パネルディスカッションについて共感したこと、疑問なこと、ご意見など(一部)

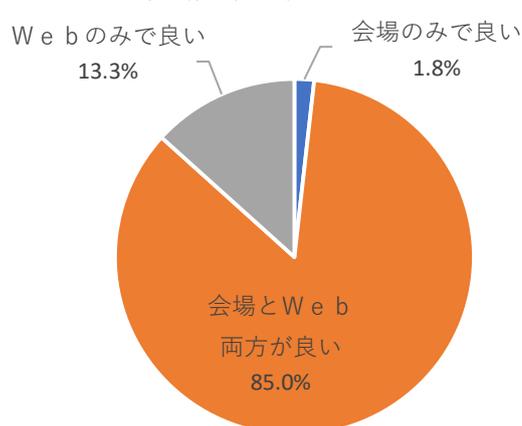
<p>・島原社長の「経営者が自社の強み、弱みが分かっている訳ではない。良き相談相手になって欲しい。」という言葉が印象に残った。</p>	金融機関 40代
<p>・お客様にとって、金融機関は交渉相手と言う言葉が一番印象に残りました。お客様にとり少しでもいい条件で借入できることがメリットがあり、他の金融機関と条件を比較することで交渉する手段を持たれており、金融機関も取引先が他行に獲得されないよう他行の条件と比較して提示していることで、結果として収益の確保が難しくなっています。でも、相談相手になれば貸出金の過当競争に巻き込まれず、またお客様の信頼が得られることは理解できます。しかし、相談相手となる努力を金融機関が怠っていたことが中々相談相手になれない現状であり、その解決策のひとつが事業性評価の浸透であると理解しています。</p>	金融機関 50代
<p>・(株)M F E H I M U K A様の関係機関と連携した経営に感銘を受けた。定期的な情報共有があれば、いざという時も迅速な対応がし易いと感じた。</p>	金融機関 20代
<p>・事業者と支援側（金融機関含む）の対比が見えてとても良かったと思います。特に、豊和銀行渡邊氏のプレゼンは、地方金融機関のあるべき姿が見えてとても頼もしく、我がまちの金融機関関係者の具体のアクションに繋がっていくことを期待します。</p>	その他60 代以上
<p>・島原社長のような取り組みを他の事業者がやろうとしたとき、なかなかハードルが高いのではないかと思います。フレームを整備して共有することが出来れば事業者と金融機関だけでなく、地域社会と有機的なつながりを持った活動が活発化するのではないかと思います。</p>	支援機関 40代
<p>・金融機関や退職したコンサルタント、中小企業の意見が聞くことができ大変参考となった。それを受け、遠藤元長官や現役の金融庁の職員である日下室長がどう考えるかもっと意見を聞きたかった。</p>	その他40 代
<p>・経営支援者1人ができることも限られている。様々なステークホルダーを巻き込んでいくことも有効な支援であると感じた。銀行員個人の裁量権を拡大するという意見は良いと思った。</p>	その他30 代

<p>・それぞれの立場から、その目線で本当に事業者に寄り添った支援とはどういうものか、金融機関に求めているものはどういうものかという思いを知ることができました。田崎氏の資料で新旧対比は言われていることではありますが、「やり方からあり方へ」というタイトルは非常に納得感がありました。豊和銀行の「ありがとう」を集めるというVサポートは、すぐに結果がでない業務に対して、多くの行員を巻き込むという経営方針を掲げて4年目ということは、同行の本気度が伝わってきた。また、商品説明会への参加で課題解決案を共有することで、行員への意識付けや人材育成に繋がるという銀行全体にとってのメリットになっていると思いました。</p>	<p>国、地方公共団体 40代</p>
<p>・パネラーのお話しもそれぞれ興味深い内容だっただけに、（パネラーの人数を絞られるか、自己紹介時間を圧縮されるか、セミナー全体の時間を長めにされるかで）もう少し時間を長く設定していただき、深めていただけると良かったです。</p>	<p>支援機関 30代</p>
<p>・若手行員に自由な裁量を一度与えてみる。そこから新たなものが見つかるかも知れません。一度実践してみたいと思います。</p>	<p>金融機関 60代以上</p>

Live配信について



開催形式について



●セミナーの開催方法等に関するご意見・ご要望など（一部）

<p>・YouTube配信は2次的利用（アーカイブする、後ほど見直す、出席できなかった方が後日拝聴する）として、当日はある程度双方向/インタラクティブなやりとりが可能な工夫が必要だと思いました。※ウェビナー利用など 音声も聞き取りにくかったです</p>
<p>・音声トラブルは注意して欲しい。質問も随時収集できるアプリの様なもので、WEBの方もできる体制にしては？</p>
<p>・YouTube配信で遠隔でも参加可能となり利便性が向上しました。音声が届かなかった部分や聞き取りにくい部分があり、改善をお願いします。</p>
<p>・YouTube配信は現地に行かずとも、自社で大勢で視聴できるので有効だと感じました。従来であれば、数人（1～2名）が現地に行き内部向けに報告となるため。</p>
<p>・Web配信のセミナーを多数実施してほしい。Web受講をしている側から配信状況（音が聞こえない等）について適時に運営の方に連絡できる仕組みを作っていただけるととてもありがたい。</p>
<p>・前半の、遠藤様の音声が届かなくて残念でした。遠藤様の講演資料が、放送終了後ダウンロードできなかったのもう少し残して欲しかった。</p>